

2015/2/25 (Wed.) 第92号

# 日本医師連盟ニュース

日本医師連盟ニュース  
 発行所  
 日本医師連盟  
 東京都文京区本駒込2-28-16  
 〒113-8621  
 TEL: 03-3947-7815  
 FAX: 03-3947-2662  
 E-mail: info01@nichiren.jp

<http://www.nichiiren.jp/>

定価 1年400円 (但し日医連負担金を含む)

## 参議院比例代表(全国区) 推薦候補者決定について

日本医師連盟 委員長 横倉 義武



会員の先生方には、日頃より医師連盟活動へのご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、自見はなこ氏を来年(平成二十八年)七月に予定されている参議院比例代表選挙における日本医師連盟推薦候補者とするごことを、昨年十一月の日医連執行委員会におきまして全会一致でご決定いただきました。推薦決定後は、自見はなこさんのさまざまな活動に対し、全国の先生方にご協力をいただいておりますごことを、心から感謝を申し上げます。

参議院は任期六年であります。が、三年ごとに半分を改選する仕組みとなっており、次期参議院選挙における推薦候補者の決定については、選挙の半年前に候補者を決定し、時間的制約のなかで十分な活動展開が行えなかつた前回選挙の反省点も踏まえ、今回は適切な時期に候補者の決定を行いたいと考えておりました。

候補者決定までの経緯を要約する下記のとおりです。



自見はなこ氏

満たすことができたのは、自見はなこさんだけではありません。自見はなこさんは、高校時代はアメリカに留学され筑波大学を卒業後、東海大学医学部に学士入学。卒業後は小児科の勤務医として診療に携わりつつ、国会議員秘書としての経験もつまわれておりました。また、国会議員政策担当秘書の資格も取得されています。本年一月からは日本医師連盟参与として、日医の医療政策についても理解を深めているごことです。

自見さんは「国民皆保険の堅持と発展」を最重要課題として、日本の医療・介護のため、この国のために、透明な私心のない、そして強固な架け橋になりたいという想いを胸に、身を捧げる強い気持ちで政治活動に臨んでおられます。

日医役員経験の長い羽生田俊参議院議員と、勤務医である自見はなこさんが車の両輪のように国政で活動することができれば、日本医師会の目指す医療政策を今まで以上に、さらに多くの国会議員の先生方にご理解いただけるものと確信しているごことです。

「日本の医療・介護制度をよりよいものになりたい」という想いはすべての会員の共通した願いであると思います。これを実現させるために、全国が一丸となって、自見はなこさんの後援会活動・医政活動へのご支援をお願い申し上げます。

全国の先生方には、是非とも自見はなこさんをお育ていただき、ますます心からお願いを申し上げます。

先生方のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

公募を行う以前の段階では、候補者となり得る可能性のある方は複数名いらっしゃいました。が、公募選考要件に「二以上の都道府県医師連盟の推薦を要する」等の要件がありこの要件を

### <候補者決定までの経緯>

#### 1) 平成26年8月19日 日医連常任執行委員会

○参議院比例代表選挙への日医連推薦候補者擁立を決議。

#### 2) 9月9日 日医連執行委員会

○常任執行委員会の決議を受けて執行委員会においても推薦候補者の擁立を決議。候補者の選考については、都道府県医師連盟を通じて公募することを決定。(11月14日締め切り)

#### 3) 11月14日

公募結果：11都県の医師連盟から推薦のあった自見はなこ氏1名のみが申請。

#### 4) 11月18日 日医連常任執行委員会

○自見はなこ氏を日医連推薦候補者とするごことを常任執行委員会として了承し、執行委員会へ諮るごことを決議。

#### 5) 11月25日 日医連常任執行委員会・執行委員会

○自見はなこ氏を参議院比例代表選挙推薦候補者とするごことを全会一致で決議。  
 ○自民党へ公認申請を行うごことも決議。

#### 6) 12月19日

○自見はなこ氏が日医連役員とともに、自民党本部で谷垣禎一幹事長、茂木敏充選挙対策委員長と面会し、候補者決定の報告を行うごとともに、自民党への公認申請を申し出る。

# 日医連執行委員会開催

## 平成二十五年度収支決算・平成二十七年度負担金基準額を承認

日本医師連盟は、一月二十日、日医会館で執行委員会を開催した。

「平成二十五年度収支決算」「平成二十七年度負担金基準額」について審議を行い、全会一致で承認した。



日医連執行委員会で挨拶する横倉義武委員長

### 衆議院総選挙を振り返って

執行委員会は今村聡副委員長の司会で開会。

はじめに横倉義武委員長が、次のように挨拶した。「本日はご多忙のなか、執行委員会にご出席いただき感謝申し上げます。昨年十二月の衆議院総選挙の結果、第三次安倍内閣が発足し引き続き自民党公明党による安定した政権運営が行われることとなった。衆議院総選挙において、十四名の医師衆議院議員が

当選した。とくに自民党では九名の方が当選された。それぞれのご地元の医師連盟の先生方には力強いご支援をいただいたと感謝申し上げます。そのなかでも選挙の直前に、比例北海道ブロックから、宮城五区へ選挙区を移した勝沼栄明先生については、北海道医師連盟・宮城県医師連盟のご支援で当選が決まりました。大変な状況であったと思うが、多くの先生方のご支援の結果と改めて感謝申し上げます。

さて、閣議決定された、平成二十七年予算案では、厳しい財政状況のなか、社会保障費の抑制化している。しかしながら、国民の生命と健康を守るための、適切な社会保障財源の確保が必要であると引き続き主張を続けていく。

また、一月十五日には憲政記念館で『国民医療を守る総決起大会』を開催し四十名を超える国会議員をはじめ七百名以上の方に参加いただき、『①国民医療を守るための財源確保』『②医療機関における消費税問題の抜本的解決について』決議を行った。日医連(日医)としては日頃からの決議の内容を念頭に陳情活動を行っているが、都道府県医師連盟の先生方のご協力も引き続きお願いしたい」



日医連執行委員会(1月20日)

統一地方選での応援を！  
羽生田俊参議院議員挨拶

「本年四月には統一地方選挙が行われ、県議会議員選挙等の地方議会選挙が行われる。地域医療計画の策定等では、都道府県が主体となり行われることになっており、県政に影響のある県議会議員選挙において、医療

一地方選挙での積極的な選挙支援をお願いしたい」

### 過年度未収金「0」に 平成二十五年度収支決算

平成二十五年度収支決算について、川島龍一会計責任者が配付資料に基づき収支内容の説明と報告を行った(別表参照)。

また、川島会計責任者から、長年の懸案であった過年度の負担金未収入金がすべて入金され、平成二十五年度収支決算について、川島龍一会計責任者が配付資料に基づき収支内容の説明と報告を行った(別表参照)。

### 負担金基準額は 昨年度と同額で決定

平成二十七年負担金基準額について、今村副委員長が、「昨年度と同様に一連盟会員あたり二万円とさせていただきますので、執行委員の先生方のご承認

政策に理解のある議員を一人でも多く当選させることが大切である。各都道府県医師連盟の先生方には統一地方選挙での積極的な選挙支援をお願いしたい」

最後に横倉委員長から「昨年十一月の執行委員会、次期参議院議員比例代表(全国区)選挙の日医連推薦候補者に機関決定した自見はなこ氏について、日医連参与に就任いただきたいが、規約第十四条に執行委員会の承認を得るのである、お諮りしたい」と提案があり、全会一致で自見はなこ氏の日医連参与と就任が了承された。

### 自見はなこ氏の 日医連参与への就任を 了承

### 平成25年度日本医師連盟収支決算報告書 (別表)

期間収支計算書 (平成25年4月1日～平成26年3月31日) (単位: 円)

収 入	
負担金	1,014,928,000
特別会費	0
寄付金	0
その他収入 ※銀行預金利子等	1,180,291
繰越金	1,454,411,370
合 計	2,470,519,661
支 出	
経常経費 (A) (人件費、備品消耗品、事務所費等)	114,462,668
政治活動費 (B)	1,347,681,718
・組織活動費	216,533,286
・選挙関係費	6,000,000
・機関紙誌発行その他の事業費	62,563,145
・調査研究費	6,744,200
・寄付交付金	1,055,841,087
支出計 (A+B)	1,462,144,386
剰余金 (次年度繰越金)	1,008,375,275
合 計 (支出計+剰余金)	2,470,519,661
負担金未収入金	0